

授業科目(ナンバリング)	海外観光資源 B (CB206) (実践的教育科目)			担当教員	大井田 かおり (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、総合旅行業務取扱管理者試験の受験を目指す学生のための授業である。「海外旅行実務」科目のうち、「観光資源」に該当する部分について、試験に向け練習問題をこなすことを目標とする。なお、本講義では A で履修した国々のほか、アジア、アフリカ、オセアニア島嶼国も含む全世界が対象となる。							①⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	世界中の地理の知識を有し、総合旅行業務取扱管理者試験レベルの問題を解くことができる。				・試験 ・課題 ・授業態度	20% 20% 10%	
情報収集、分析力	過去問から、総合旅行業務取扱管理者試験の出題傾向が予想できる。				・試験 ・課題	10% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	世界中の国々の観光資源について説明可能なだけの知識を有することができる。				・試験 ・課題 ・授業態度	10% 10% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
試験(40%)、課題(40%)、授業態度(20%)により、総合的に評価する。フィードバックは授業中もしくはポートフォリオで行う。課題の提出はポートフォリオで行う。							
授業の概要							
総合旅行業務取扱管理者試験の海外観光資源の過去問や練習問題をこなす。授業範囲は世界中に渡ることとなる。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書&指定図書：『海外観光資源』(株) JTB 総合研究所 (『海外観光資源A』で購入した人はそれでよい) 参考書：海外観光地理サブノート (株) JTB 総合研究所 (受験する人対象) ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン U-CAN (受験する人対象)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
こちらの授業は、担当教員の国内・海外添乗員の経験や知見に基づく実践的な科目であり、総合旅行業務取扱管理者試験を受験する人が対象です。 試験対策問題を解くことが授業の中心となります。総合旅行業務管理者試験の受験科目のうち「海外観光資源」については、対象が世界各地であり、覚えることも膨大です。比較的早いうちから準備をしないと、間に合いません。ひたすら練習問題をこなすことによって、出題傾向に慣れましょう。JTB 総合研究所『海外観光資源』の内容が基本ですが、出やすい問題を整理しているのが U-CAN『ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン』です。受験する人は両方を参照した方がいいでしょう。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方、準備すること、総合旅行業務取扱管理者試験内容等。	授業の進め方、総合旅行業務取扱管理者試験内容等について復習
2	ヨーロッパ(1)	北欧、イギリス、アイルランド、フランス、ドイツ、ベネルクス、スイス等の出題傾向を押さえる。	フランス、スイス等の国についての予習／復習
3	ヨーロッパ(2)	オーストリア、イタリア、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、ハンガリー、ポーランド、チェコ、ロシア、バルト3国等の出題傾向を押さえる。	イタリア、スペイン等の国についての予習／復習
4	アメリカ・カナダ(1)	アメリカ本土の出題傾向を押さえる。	アメリカ本土についての予習／復習
5	アメリカ・カナダ(2)	ハワイ、カナダ等の出題傾向を押さえる。	ハワイ、カナダ等についての予習／復習
6	中南米・カリブ・アフリカ・中東(1)	メキシコ、ジャマイカ、バハマ、コスタリカ、ブラジル、チリ、ペルー、エクアドル、アルゼンチン、エジプト等の出題傾向を押さえる。	中南米、カリブ、エジプトについての予習／復習
7	中南米・カリブ・アフリカ・中東(2)	ケニア、タンザニア、チュニジア、モロッコ、南アフリカ、セーシェル、マダガスカル等の出題傾向を押さえる。	アフリカ、中東の国々についての予習／復習
8	アジア(1)	韓国、中国、香港、台湾等の出題傾向を押さえる。	東北アジアについての予習／復習
9	アジア(2)	タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、カンボジア、ベトナム、インド、ミャンマー、パキスタン、ネパール、フィリピン等の出題傾向を押さえる。	東南アジアについての予習／復習
10	オセアニア(1)	オーストラリアの出題傾向を押さえる。	オーストラリアについての予習／復習
11	オセアニア(2)	ニュージーランド、ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの出題傾向を押さえる。	ニュージーランド等についての予習／復習
12	過去問(1)	令和3年度、令和2年度、令和元年度、平成30年度、平成29年度の試験問題を検討し、対策を練る。	平成29年度以降の過去問について予習／復習
13	過去問(2)	平成28年度、平成27年度、平成26年度、平成25年度、平成24年度の試験問題を検討し、対策を練る。	平成25年度以降の過去問について予習／復習
14	過去問(3)	過去問に合わせた練習問題を解き、試験傾向に慣れる。	過去問全体の予習／復習
15	まとめ	試験に出やすい国の把握と、定期試験の準備	全体的に振り返る
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備をする